

令和2年度 下水道維持管理業務取組み発表会

発表概要

所属 福童浄化センター
発表タイトル 福童浄化センターにおける非常用発電設備の運用について
取組の目的 近年、地震等による長期かつ広域にわたる停電が発生している。大規模災害時においては長期の停電の恐れがあり、非常用発電設備の稼働可能時間が重要な項目となっている。停電時における非常用発電設備および施設の運用を見直し、災害状況に応じた対応を行うことで非常用発電設備の稼働可能時間の延長を目指す。
取組内容 <ul style="list-style-type: none">・ 非常用発電設備の特性を確認し、その特性に合わせた運用方法を検討した。・ 機器毎の電力を整理し、非常用発電設備稼働時における機器の運転の目安とした。・ 上記を踏まえて、停電時の運用マニュアルを改訂するための資料とした。また維持管理業者の研修資料としても活用し、ディーゼルとガスタービンの特性、発電機停止後に再起動する場合や連続運転時の注意事項、燃料消費率等について周知した。
取組成果・効果 <ul style="list-style-type: none">・ 停電時において、効率的に機器を運用する方法が明確になったことで、非常用発電設備の稼働時間が従来よりも延長された。・ 本取組における調査を行っているなかで、本来は解除されているべき非常用発電機運転時における負荷制限のインターロックが残されていることが判明した。施設運用に支障がでる恐れがあるため、今回併せて解除を行った。・ 非常用発電設備に関する知識を、本取組を通して維持管理業者に伝えることができ、適切な施設運用に期待ができる。・ 今後も引き続き、適切な施設運用を行えるよう検討を続けていく。